

第3次加西市観光推進基本計画 概要版

『学びと体験・平和を紡ぐまち加西』探訪



令和5年度～令和9年度
(2023年度) (2027年度)

目次

1	観光推進基本計画の概要	1
	(1)計画策定の趣旨	1
	(2)計画の位置づけ	1
	(3)計画期間	1
2	加西市をとりまく観光の現状と課題	2
3	観光推進に向けた施策展開	3
	(1)第6次加西市総合計画に定める基本理念と将来都市像	3
	(2)観光振興のコンセプト(将来像)	3
	(3)目標値	3
	(4)基本方針(3つの方針)方向性	3
	(5)基本計画(5年)	4～5
4	計画の推進体制	6
5	策定組織体制・策定経過	6

1 観光推進基本計画の概要

(1) 計画策定の趣旨

本市では、平成30年度～令和4年度（2018年度～2022年度）を計画期間とした「第2次加西市観光推進基本計画」に基づき、「加西観光まちづくり劇場 フラワー&ピースフル」を将来のキャッチフレーズに、計画に基づいた観光施策を展開してまいりました。

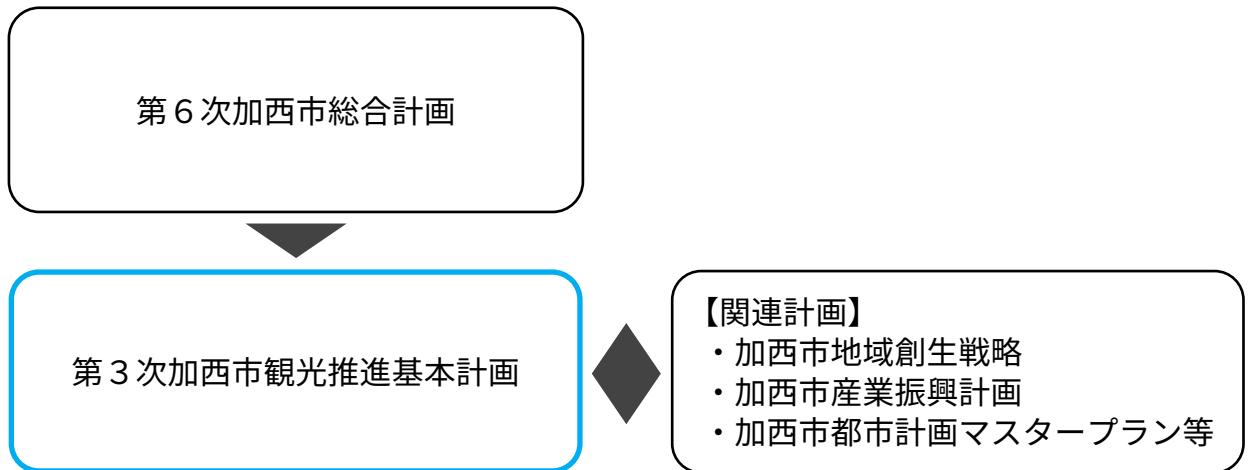
この間、国では新たな「観光立国推進基本計画」（令和5年度～令和7年度（2023年度～2025年度））、兵庫県では「ひょうご新観光戦略」（令和5年度～令和9年度（2023年度～2027年度））が策定されるなど、観光行政の大きな見直しが図られています。

令和2年度（2020年度）の新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限にともない、観光客は減少する結果となりましたが、令和7年度（2025年度）に開催される大阪・関西万博にともない、訪日外国人旅行者を都市部だけではなく地方部へ呼び込むための取組検討も必要です。

こうした変化を捉えながら、「第2次加西市観光推進基本計画」が令和4年度（2022年度）に満了を迎えることを踏まえ、令和9年度（2027年度）を目標年次とした「第3次加西市観光推進基本計画」を策定します。

(2) 計画の位置づけ

計画の策定にあたっては、「第6次加西市総合計画」を上位計画として、観光関連計画との整合性を図りながら、実施するものです。

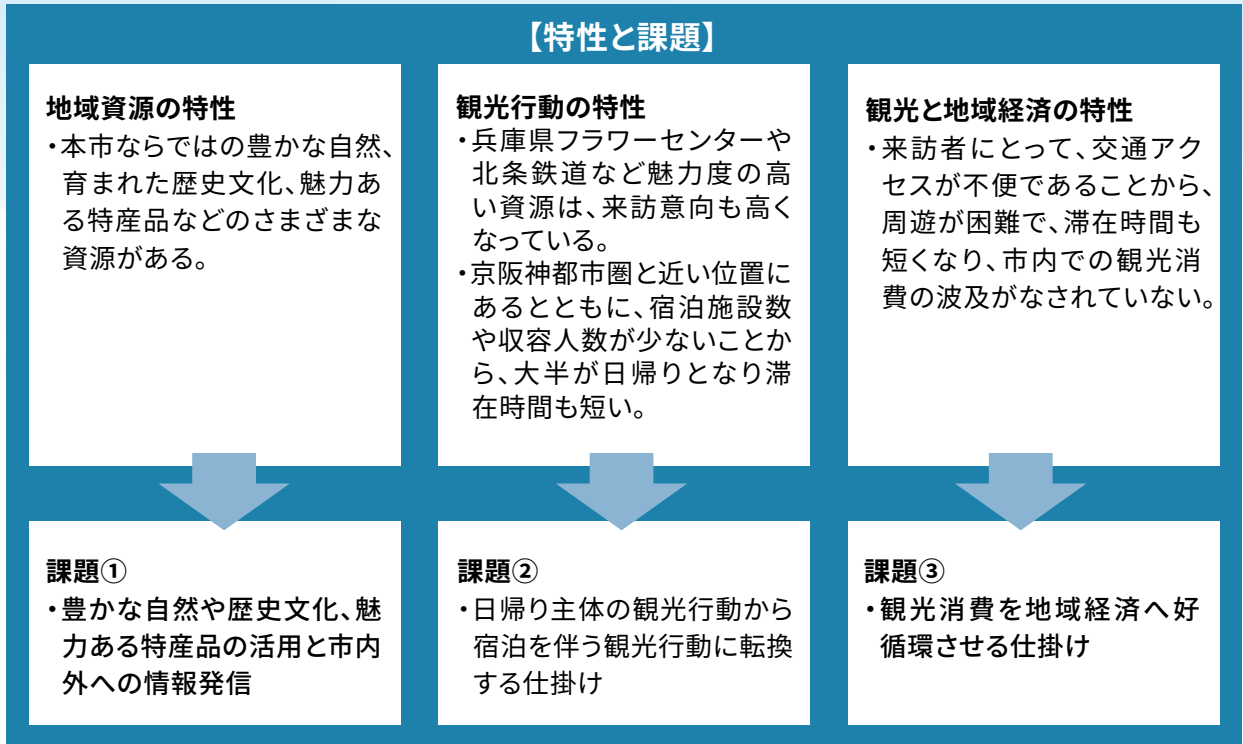


(3) 計画期間

計画期間は、令和5年度～令和9年度（2023年度～2027年度）までの5年間とします。なお、計画期間中に状況の変化などが生じた場合は、計画期間内においても、必要に応じて見直しを図ります。

2 加西市をとりまく観光の現状と課題

本市の観光の現状を調査、分析結果をもとに地域資源、来訪者の観光行動、観光と地域経済の視点から課題を整理すると次のようになります。



【環境の変化】

- 観光ニーズが多様化し、団体から個人へ、訪問型から体験型への志向が高まり、新しい観光スタイルへの転換が求められている。
- コロナ禍の影響により、国内外ともに「健康」や「自然」、「安心安全」への期待が高まっている。
- SDGsを意識しながら、持続可能な観光振興を図る必要がある。

Point!

本市ならではの観光資源を巧みに組み合わせ、統一したコンセプトを掲げ、持続可能な形で経済効果を生み出す方向性が重要 → 本戦略へ反映

【想定される必要な取り組み】

- 来訪したいと思ってもらえるような魅力づくりのため、地域全体で連携し、観光客を受け入れる体制づくりに取り組む。
- 加西市の魅力や観光施設、特産品を外部へ発信することに取り組む。
- 観光施設間を循環するバスなどの交通機関の提供によるアクセスの改善や、まち歩きガイドの育成やスキルアップに取り組む。

市民と来訪者のつながりをつくりながら課題①～③を解決

めざまちの姿を実現

3 観光推進に向けた施策展開

(1) 第6次加西市総合計画に定める基本理念と将来都市像

基本理念 未来を拓く協創のまち 加西～豊かな自然、育まれた歴史、深まる絆を活かして～
将来都市像 大空に 夢がふくらむ「未来の田舎」かさい

(2) 観光振興のコンセプト(将来像)

『学びと体験・平和を紡ぐまち加西』探訪

〈観光振興により実現する基本方向〉

- 「平和学習」「空」「花」「鉄道」に代表される加西市の魅力を訴求
- 食を組み合わせ、市民との交流を通じて学び体験する場を提供
- 市民と来訪者との親和性を高め再来訪の拡大

(3) 目標値

		令和4(2022)年度 見込み数値	令和9(2027)年度
観光消費総額	日帰り	11,000 円	12,100 円
	宿泊	34,000 円	37,400 円
観光入込客数		110 万人	126 万人
教育旅行来訪学校数		112 校	120 校
soraかさい来場者数		10 万人	15 万人
北条鉄道	年間乗降客数	390,000 人	430,000 人

※令和4年度の数値は令和5年2月付けの見込数値です

	令和4(2022)年度見込み数値	令和9(2027)年度
イベント参加数	43,500 人	45,000 人
体験型旅行コンテンツ数	0 件	5 件

※令和4年度の数値は令和5年2月付けの見込数値です

(4) 基本方針(3つの方針) 方向性

(1) 地域資源の磨き上げと掘り起こし

加西市を代表する資源(鶉野飛行場跡(soraかさい)、兵庫県立フラワーセンター、北条鉄道等)を磁力に、加西市のルーツともなる『播磨国風土記』及び玉丘古墳に加えて、気球体験、北条の宿まちなみ散策、サイクリングやポタリング(※1)等を楽しむスポーツツーリズム、ウォーカブルツーリズム(※2)、酒蔵・醤油蔵見学等のコンテンツを磨き、組み合わせる観光の展開を図ります。

(※1)ポタリング:自転車散歩 (※2)ウォーカブルツーリズム:居心地が良く楽しく歩く観光

(2) 積極的な誘客に向けた国内外への情報発信

平和学習や花、草木、生きものを通した自然、古墳やため池、まちなみ等を通して紡いできた歴史文化に学び、農産物による食を通した暮らし文化の体験等の地域の魅力を国内外に向け発信していきます。

(3) 受入環境の整備と人材(※)育成

鶉野飛行場跡(soraかさい)、兵庫県立フラワーセンター、北条鉄道等を訪れる人たちを市内の他の施設やエリアに誘客するためのサインや案内板等の整備と観光を持続的に支える人材育成に取り組む展開を図ります。また、ガイドのスキルアップや人数の充実により、おもてなし環境を整えます。

※人材:「人=財産」と捉え、組織にとって人は財産であるという考え方

(5) 基本計画(5年)

重点施策:第3次加西市観光推進基本計画に記載する施策のうち、特に重要度が高いものを重点施策とし、優先順位を上げて取り組みます。

方針1 地域資源の磨き上げと掘り起こし

持続的に観光振興を図り、加西市の魅力を高めます

加西市の観光振興として、鶉野飛行場跡(soraかさい)、兵庫県立フラワーセンター、北条鉄道等を磁力に、加西市のルートともなる『播磨国風土記』及び玉丘古墳に加えて、気球体験、北条の宿とまちなみ散策、米やとまとの食資源、酒蔵・醤油蔵見学等の資源を磨き、組み合わせた観光コンテンツの開発に取り組みます。

施策1 交流する観光 ～人と文化との交流～

暮らし文化を体験する

- 重点施策**・体験型旅行商品の造成・提供
・加西市の多彩なものづくりを活かした「産業観光」の推進

歴史文化を学び体験する

- ・播磨国風土記をテーマとした芸術祭などの実施
・「学びと体験」を体験できる観光コンテンツ開発を支援する仕組みづくり
・官民連携による観光ビジネス創出(文化観光や食の魅力開発のワークショップを発展させ観光ビジネスに結び付ける)
重点施策・劇場型周遊観光プログラムを定期的に進行

soraかさいを核とするウォークブル観光の展開

- 重点施策**・soraかさいや駅を中心に市内観光エリアへのアクセス性の向上
(仮称)花とsoraの径、(仮称)播磨国風土記の径の整備

イベント・ツーリズムへの助成

- ・市民が鶉野飛行場跡を活用するイベントを支援



鶉野飛行場跡



北条の宿 町並み散策

施策2 体験する観光 ～自身の心と身体で体験～

まちあそびで加西市を楽しむ

- ・「空」や「花」、「平和」、「鉄道」等の地域資源に「食」を組み合わせ、加西市の人が紡いできた地域の魅力を実体験するコンテンツ開発

平和を学び実感する

- ・旧海軍飛行場にゆかりのある姫路市、加西市、宇佐市、鹿屋市、錦町(※)との連携
※空がつかなくまち・ひとつづくり推進協議会(以下5市町空つな連携)

気球に搭乗する

- 重点施策**・気球の飛ぶまち加西の推進

スポーツツーリズムで楽しむ

- ・「グリーンパークトライアスロンin加西」等の継続によりさらなるサイクルツーリズムへの取り組み強化

- 重点施策**・レンタサイクルの利用促進

- ・ロングライドイベントとカサイチサイクルマップの活用

自然の豊かさを実感する

- ・(仮称)花とsoraの径、(仮称)播磨国風土記の径の整備(再掲)
・ハイキング、登山、キャンプ等 アウトドアイベントの充実



気球搭乗体験



レンタサイクル

施策3 食の観光 ～自然の恵みや食文化を実感～

土産品の開発・提供

- ・喝采みやげの開発と普及

かさい産農産物の活用

- 重点施策**・市内飲食店との連携による食のコンテンツ開発

- 重点施策**・食コンテストの開催により提供事業者を拡大

- ・ガストロノミーツーリズム(※)の推進

- ※ガストロノミーツーリズム:その土地ならではの食や農業等の地域資源を結び、その土地の食や自然文化、伝統等の地域の魅力を一体的に体験する観光のスタイル

かさいで農産物をつくる

- 重点施策**・計画中の道の駅の活用を見越して、参加体験型農作物づくりプログラムの開発と準備



加西とまと

方針2 積極的な誘客に向けた国内外への情報発信

訪れてよし・住んでよしの観光の推進

加西市の魅力である「花」「自然」「歴史文化」「農産物による食を通した暮らし文化の体験等」に「平和を紡ぐまち・加西」のまちづくり姿勢を組み合わせ、情報発信を進めます。

施策1 市町連携と観光マーケティングにおけるBtoBセールスの強化

■播磨各市町等との広域観光の展開

- ・ターゲットとニーズを明確にした国内外に向けた誘客の展開

■5市町空つな連携等による広域観光の展開

- 重点施策** ・5市町で相互送客が可能な商品造成とファムトリップ(※)の実施
※ファムトリップ:旅行会社やメディア、ブロガー等を対象にした現地視察ツアー

■観光マーケティングにおけるBtoBセールス(※)の強化

- 重点施策** ・旅行会社・メディア向けPR(BtoBセールス)の強化により
学校の教育旅行誘致を拡大
・教育旅行で訪れた生徒、学生の家族を誘客に結び付け
来訪者を拡大
※BtoBセールス:Business to Businessの略称で、法人間の商取引を表した売り込み形態



兵庫県立フラワーセンター



北条鉄道



soraかさい

施策2 情報の発信

■SNS等を活用した国内外へ情報発信

- 重点施策** ・「BE KOBE」的なモニュメント製作を行い「映えスポット」として
来訪者にSNSで発信いただき、更なる来訪者増を目指す

■市民参画による情報発信

- 重点施策** ・観光研究会の活動を強化して市内外へ加西市の観光魅力を周知
・市民一人ひとりがインフルエンサー(※)となって観光情報を
発信できるようにインナープロモーションを強化
※インフルエンサー:インターネット等で世の中に大きな影響を与える人

方針3 受入環境の整備と人財育成

来訪者と市民が紡ぐ観光の推進

国内外からの来訪者のおもてなし環境の整備と市民がつながる観光まちづくりを推進します。

施策1 受入環境の整備

■多様性を受け入れる環境の整備

- 重点施策** ・観光案内機能の充実、観光サイン・案内板・Wi-Fiの充実・整備

■インバウンドを受け入れる環境の整備

- ・インバウンド対策
「播磨圏域広域観光連携事業」(8市8町の会)による外国人観光客の
入込拡大を目指した広域観光の取り組み



加西アルプス

施策2 人財育成

■観光に携わる人財の育成

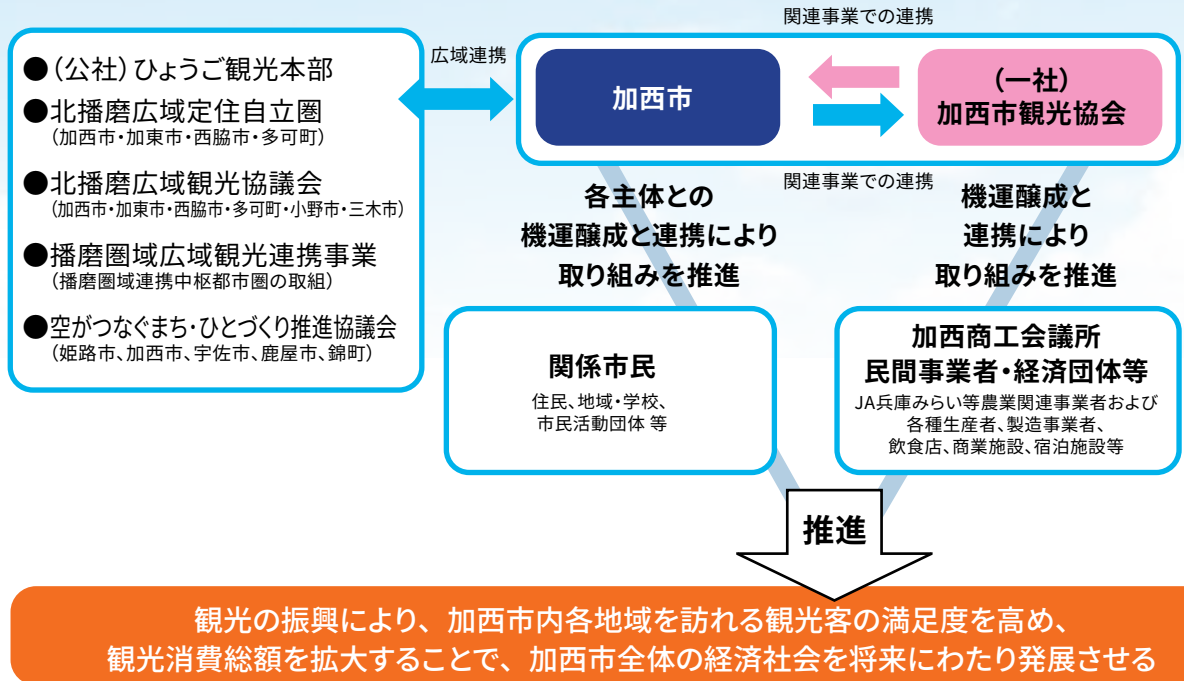
- 重点施策** ・地域のまちづくり組織や学校との連携により、おもてなし人財や
観光まちづくり人財の結集と育成
・地元の学校等との連携によりガイドやインストラクターの育成、
食育や農の体験等を組み合わせた商品開発



五百羅漢

4 計画の推進体制

計画の推進にあたっては、第3次加西市観光推進基本計画策定委員会が中心となり、市内事業者や関係者と進捗に関する意見交換や合意形成の場を設け、市と共に（一社）加西市観光協会と関係者が一丸となって観光の産業を強化推進すべく、経済活性化に取り組みます。



(計画の進捗管理)

本計画の進捗状況及び評価については、加西市の実情や観光市場の動向に即しながら目標達成に向けて管理していきます。本計画について関係者間でよく理解し、目標を共有していくことが計画の実効性を高めることとなります。加西市の賑わい創出・経済活性化・交流人口拡大のためにも本計画を着実に実行し、時代に即しながらも地に足の着いた観光地域づくりを進めます。

5 策定組織体制・策定経過

① 計画の策定組織体制

本計画は、「策定委員会」と「事務局」の2つの組織を中心に、市民意見を取り入れながら検討しました。「策定委員会」は、学識経験者や商工・観光業関係者により構成され、計画案の実質的な策定・検討主体としての役割を担い、「事務局」は、本市文化・観光・スポーツ課職員により計画案の検討・提言などの役割を担いました。

② 策定委員会名簿 (順不同・敬称略)

所属	役職	氏名
京都外国語大学	特任教授	吉兼 秀夫(委員長)
加西商工会議所	事務局長	森井 和喜(副委員長)
神姫バス株式会社	バス事業部 計画課長	竹内 宏
JA兵庫みらい	加西宮農生活センター長	圓井 秀和
兵庫県立フラワーセンター	参事	大豊 雅宏
一般社団法人加西市観光協会	事務局長	船瀬 大輔
いこいの村はりま	支配人	福垣 保
北条鉄道株式会社	常務取締役	藤井 秀明
観光まちづくり協会観光研究会	委員長	田中 俊宏
兵庫県北播磨県民局県民交流室	室長補佐兼県民・商工観光課班長	西原 富美子
富久錦株式会社	代表取締役社長	稲岡 敬之
株式会社シャルム	代表取締役	深田 美香

③ 策定経過

計画策定は、令和3年度1月～令和4年度2月の2年間に渡り、延べ6回の策定委員会において議論して実施しました。また、加西市の魅力創造ワークショップと食を中心としたブランド化推進ワークショップの各3回を開催し、活発なご意見をいただきました。

第3次加西市観光推進基本計画 概要版

発行日 令和5年(2023年)3月

発行 加西市

編集 ふるさと創造部 文化・観光・スポーツ課

〒675-2395

兵庫県加西市北条町横尾1000番地

T E L:0790-42-8756

E-mail:kanko@city.kasai.lg.jp

【表紙の挿絵 『加西ふるさとかるた』について】

「加西の魅力をかるたにしよう」と市内の小学生に加西の名所、特産品、文化、歴史、人物など加西の素敵なところを、みんなの言葉で読札にしてもらいました。485名からご応募いただいた913句の中から44の読札が決定しました。

絵札は、兵庫県を代表する版画家 岩田健三郎先生です。